

## 水稻の生育情報

コシヒカリの出穂が進んでいます。適切な水管理を行いましょう。

概況（7月19日 水稻定点ほ場調査結果から）

7月中旬の気温は平年並み、日照時間は平年を下回りました（図1）。水稻の生育は、草丈は平年並み～やや高い、茎数は少ない～平年並み、葉色は平年並みに推移しています。出穂期は、坂東市では平年より9日早い7月13日、境町では平年より5日早い7月19日でした。五霞町は平年より4日早く、古河市で平年並みと予測されます（表）。

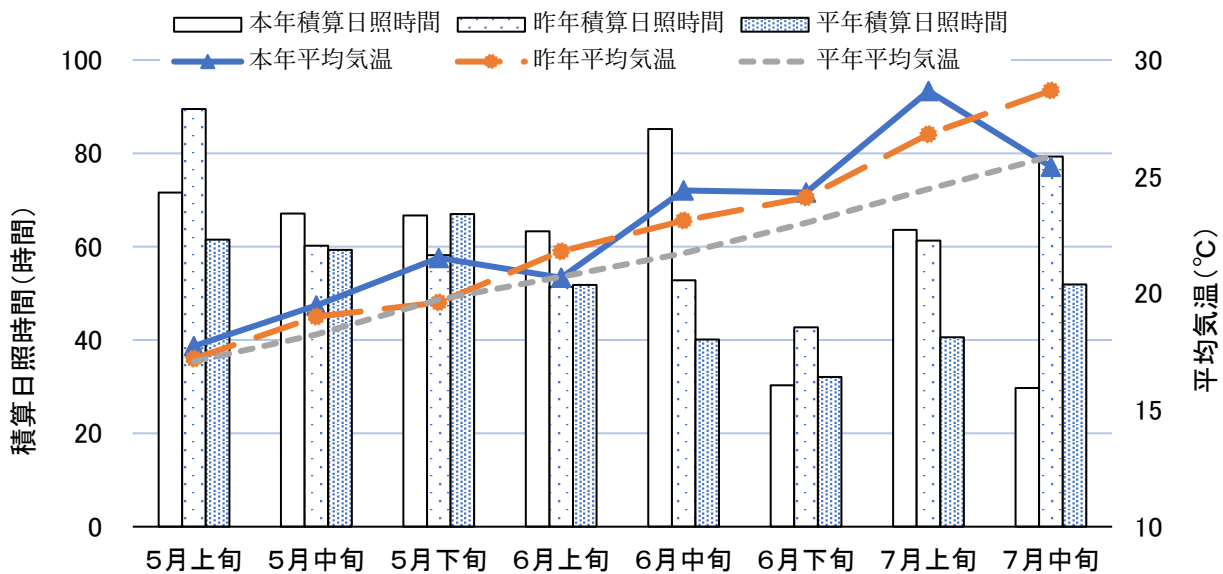


図1. 5月上旬から7月中旬の旬別平均気温と日照時間（古河）（注）平年値は1991～2020年の平均値

表. 定点ほ場の生育調査結果（令和6年7月19日現在）

品種	調査地点	田植日	植付本数 本/株	栽植密度 株/m <sup>2</sup>	草丈※1 cm	茎数※1		葉色※1 葉色板	幼穂長 mm	出穂期予測 ※1,2
						本/株	本/m <sup>2</sup>			
コシヒカリ	坂東市	4/29	4.6	15.2	110.8 (103.2)	27	411 (481)	4.2 (4.0)	穂揃期	【7/13】 (7/22)
	境町	4/25	4.5	13.9	105.2 (104.0)	30	415 (458)	3.5 (3.9)	出穂期	【7/19】 (7/24)
	五霞町	5/7	4.8	15.9	104.0 (94.4)	25	402 (440)	3.7 (3.6)	184.8	7/26 (7/30)
	古河市	5/11	4.5	15.9	99.6 (93.7)	28	444 (445)	3.5 (3.9)	180.0	7/26 (7/26)

※1下段( )内は過去5年間の平均値。 ※2【 】内は出穂期。

### 今後の栽培管理

出穂後30日間は「間断かん水」を行いましょう。「間断かん水」により根の活力が維持され、乳白粒発生  
の軽減へつながります。

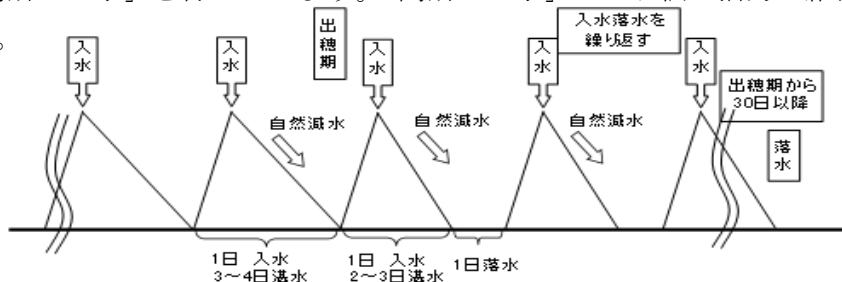


図2. 出穂後の水管理